

## 実践報告資料

研究テーマ『一人ひとりの人権を尊重する精神を培い、こころ豊かな児童の育成をめざして』

研究内容【(1)、(2)、(3)、(4)】

学校名（たつの市立揖保小学校）

**ア 人権教育としてのねらい**

積極的に人と関わる活動を通して、自尊感情を育むとともに自他理解を向上させ、進んで共感し合う集団を育てる。そして、自分を認め、認められ、大切に感じることでできる学校づくりをめざす。

**イ 研究の概要**

児童の自主自立の意識を高め、基本的な生活習慣の確立と基礎・基本の定着に努める。さらに、地域に根ざした人権教育を推進し、児童の自覚・向上を図り、差別をなくそうとする実践力を育てる。そして、認め合い、支え合い、高め合う集団づくりを通して人権尊重の精神に徹し、差別をなくそうとする意欲を高める。

教科等	各教科（国語科）	特別の教科 道徳	総合的な学習の時間	特別活動
指導者	5年担任 推進教員	1年担任 推進教員	3年担任 推進教員	全教職員
実施日	11月28日	9月11日	11月7日	通年
取組名	よりよい学校生活のために	いっしょに あそぼ	大好き！ みんなの揖保町	うれしい！たのしい！ だいすき！みんなで作るみんなの学校
目 標	たがいの立場を明確にしながらいっしょに計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。	友だちの願いに気づいて行動し、誰とでも仲良く遊ぼうとする意欲をもつ。	揖保町には神社や寺、公民館や総合隣保館など人が集い楽しむ場所がたくさんあることを知り、自分たちの住む地区に誇りをもつ。	異年齢の友だちと関わり合う中で、各自の良さが認められる場を保障し、自尊感情を育む。
資料名	よりよい学校生活のために	「いっしょに あそぼ」『ほほえみ』（県教育委員会）（改作）	えがおかがやくりんぼ館まつり	
指導内容や指導方法の工夫等	グループの中で役割を決め、進行計画を立てることで、話し合いの見通しをもたせ、話し合いでは、「考えを出し合う」「考えをくらべ合う」「考えをまとめる」の3つのステップで進めさせる。 話型を示した司会者カード・発言者カードを3つのステップに応じて適宜活用させ、立場を明確にして、適切な言葉を選んで述べるための手立てとする。	教材のあらすじや登場人物の気持ちを容易に理解できるよう、場面ごとに挿絵を分割提示する。 葛藤している私の気持ちに迫らせるため、寂しそうに遊ぶ友だちの様子や気持ちをつかませてから考えさせる。 どのような声かけをすればみんなで仲良く遊べるのかを考えさせるために役割演技を取り入れる。	隣保館へ見学に行き、総合隣保館はたくさんの方が集まり交流する場所であることを知る。そして、資料をもとに、たくさんの方を笑顔にしたいという願いで隣保館まつりを作った地域の人の思いに気づき、隣保館まつりを誇らしく思うぼくの気持ちに共感させる。	月に1回の代表委員会を開き、「うれしい！たのしい！だいすき！みんなで作るみんなの学校」をテーマにイベントの企画・運営に取り組ませる。 より良い生活習慣（あいさつ・雨の日の過ごし方）を実現するために、全校でのつながりを深めるようにする。

実施日：通年 ※本単元の学習時期は、1学期間（4月～7月）	
教科等：特別活動	
取組名：うれしい!たのしい!だいすき!みんなでつくるみんなの学校	
対 象：全学年	実施場所：体育館、教室、特別教室など
ア ねらい 異年齢の友だちと関わり合う中で、各自の良さが認められる場を保障し、自尊感情を育む。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>月に1回の代表委員会を開き、「うれしい!たのしい!だいすき!みんなでつくるみんなの学校」をテーマにイベントの企画・運営に取り組ませる。</li> <li>より良い生活習慣(あいさつ・雨の日の過ごし方)を実現するために、全校でのつながりを深くするようにする。</li> <li>5月初旬に全校で「1年生を迎える会」を実施し、1年生の入学を全校で祝福するとともに、1年生がスムーズに学校生活に慣れ、「学校ってたのしいな。」と思える企画・運営を行った。</li> <li>7月初旬に全校で「いぼっこサマーフェスティバル」を実施した。全校児童が各教室からリモート中継での参加となったが、各クラスのいいところを発表したり、チャレンジ企画を行ったりするなど、大盛り上がりとなった。</li> </ul>	
ウ 連携先：全校生	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>高学年だけの思いや願いで運営をすることなく、他学年から「会議係」などの担当を決め、全校での取組となるようにした。また、会議係についても輪番制とし、できるだけ多くの児童に活躍の機会があるようにする。</li> <li>各委員会での取組内容を可視化するため、「わくわく掲示板」を設置し、低学年の児童にも分かりやすくイベントや取組が周知できるようにする。</li> </ul>	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種アンケートや、スライドの一部を chromebook を使って作成、共有することで、話し合い活動が活発になった。</li> <li>一年間を見通した活動ができるように、年度初めに必ずテーマを計画させ、その都度、見直しと振り返りをとるようにした。</li> </ul>	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート ・ スライド</li> </ul>	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>これらの活動を通して、少しずつではあるが、自分たちの思いを自分たちで形にしていく意欲につながってきている。また、それをみんなで共有することの意義を感じ始めてきた。</li> <li>一部の児童だけが企画運営をすることなく、すべての児童が主体的に活動できるようになった。</li> </ul>	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>単年だけの活動にすることなく、持続可能な形で児童会の運営を進めていくこと。</li> <li>教師主導ではなく、さらに児童主導となった活動にしていくこと。</li> </ul>	

学校名（たつの市立揖保小学校）

実施日：11月7日 ※本単元の学習時期は、2学期間（9～12月）	
教科等：総合的な学習の時間	
取組名：大好き！みんなの揖保町	
対 象：3年生	実施場所：3年教室
ア ねらい 揖保町には神社や寺、公民館や総合隣保館など人が集い楽しむ場所がたくさんあることを知り、自分たちの住む地区に誇りをもつ。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会科の学習と関連させ、揖保地区の歴史ある建物や公共施設について知る。（事前）</li> <li>・ 見学に向けて学びたいこと、疑問に思ったことなどをグループや全体で共有する。（事前）</li> <li>・ 隣保館を見学し、隣保館の様子や働いている人の思いを知る。（事前）</li> <li>・ たくさんの人を笑顔にしたいという願いで隣保館まつりを作った地域の人たちの思いを知り、隣保館まつりを誇らしく思うぼくの気持ちに共感することができる。（本時）</li> <li>・ 隣保館についてまとめ、他学年に向けて発表を行う。（事後）</li> </ul>	
ウ 連携先：たつの市総合隣保館、他学年	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たつの市総合隣保館と連絡をとり、見学に行かせていただき、隣保館の様子や働いている人の思いを知る。</li> <li>・ 隣保館まつりの授業を行うことで、児童が隣保館により親しみを感じられるきっかけとする。</li> <li>・ 学習のまとめを行い、他学年に向けて発表を行う。</li> </ul>	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェビングマップを使ってグループや全体で共有することで、思考を可視化し、整理しやすくなった。</li> <li>・ 活動の写真を Chromebook で共有することで、ふり返りが容易となった。</li> </ul>	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合（いいほ）ノート ・ ワークシート</li> </ul>	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童は、揖保地区の歴史ある建物や、公共施設を身近に感じることができるようになった。</li> <li>・ 揖保地区のことだけでなく、たつの市全体にはどんな建物などがあるのか、もっと知りたいと興味をもつ児童が多かった。</li> </ul>	
ク 課題 調べ学習だけで終わらないように、見学などを通して学習を進めていったが、揖保地区の一員として、今後どのように関わっていきたいか、自分事として考えさせることが大切である。日々の生活で実践を積み重ねていきたい。	

実施日：9月11日	
教科等：特別の教科 道徳	
取組名：いっしょに あそぼ	
対 象：1年生	実施場所：1年教室
ア ねらい 弱い立場にいる友だちの願いや思いに気付いて行動し、誰とでも仲良く遊ぼうとする意欲をもつ。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な人権課題に気付かせ、自分の行動を考える。</li> <li>・ 友だちと遊んでいるときの様子や思いを話し合う。</li> <li>・ 話を聞いてわたしの気持ちを考える。</li> <li>・ 教材の終末を聞き、本時の学習をふり返る。</li> </ul>	
ウ 連携先：家庭	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親子読書</li> <li>・ 授業参観で道徳の授業を公開する。公開した学習について、家庭で話し合ってもらい、保護者とともに人権感覚を養う。</li> </ul>	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月に1度親子読書の日を設定し、兵庫県版副読本や道徳の教科書の教材等を親子で読み合い、感想を共有する。</li> <li>・ 学習のふり返りを掲示物にし、参観日やオープンスクールで周知を図る。</li> </ul>	
カ 評価の方法 児童の発言やワークシート	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「休み時間、誰とでも仲良く遊ぶ！」と発表できた。</li> <li>・ わたしがなつみちゃんを誘う言葉を考えることで、もしも同じようなことがあれば自分も同じように声をかけたいと思えるようになった。</li> <li>・ 友だちが困っていたら話を聞いて助けたいと強く思えるようになった。</li> </ul>	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめや不合理だと思う場面に出会った際、止めなければいけないと分かってはいるが、その思いを行動に移すことができず、同調したり傍観したりしてしまう児童がいる。</li> <li>・ 今後もまだ自分中心の言動が多いことが考えられる。学校生活や社会生活において、児童の行動をじっくり見ながら、友だちの願いや思いに寄り添った行動をし、仲良く遊べるよう促していきたい。</li> </ul>	

実施日：11月27日	
教科等：国語科	
取組名：たがいの立場を明確にして、話し合おう 『よりよい学校生活のために』	
対 象：5年生	実施場所：5年教室
ア ねらい たがいの立場を明確にしながら計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活の中で、よりよくしたいと思うことを出し合い、学習計画を立てる。（事前）</li> <li>・ 学校生活をふり返り、新たにしてみたいことや解決したい課題を見つけ、話し合う議題を決める。（事前）</li> <li>・ 自分の意見をまとめ、立場を明確にする。（事前）</li> <li>・ 立場を明確にした話し合いのしかたを確かめ、役割や進め方を決める。（本時）</li> <li>・ 話し合った結果をクラス全体で共有して感想を伝え合い、単元をふり返る。（事後）</li> </ul>	
ウ 連携先：他学年	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度「6年生を送る会」の運営を経験した6年生へのアンケート結果をもとに、自分たちがこれから企画・運営していくにあたって解決したい課題を見つけていく。</li> <li>・ 昨年度の「6年生を送る会」の課題などについて交流することで、具体的な解決方法は何か一人ひとりが考えをもち、課題解決のための話し合い活動を行う。</li> <li>・ 学習のまとめを行い、他学年に「6年生を送る会」に向けて各学年で取り組んでほしいことなどを伝え協力して取り組んでいく。</li> </ul>	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホワイトボードに一人ひとりの考えを付箋に書いて貼っていきながら、グループで共有することで、思考を可視化し、整理しやすくなる。</li> <li>・ 記録を Chromebook で共有することで、個人の文章でのふり返しだけでなく、映像を使うことで、ふり返しやすくなった。自分の班の、他の子をじっくり見るきっかけにもなるので、他者評価の手立てとしても有効である。</li> </ul>	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業記録（Chromebook） ・ ワークシート</li> </ul>	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合っているときの反応がとても良かった。普段からの学級の良い雰囲気がでていた。</li> <li>・ 「司会者／発表者カード」の存在がとても良かった。話型カードを準備することで、会話や発言の形式を大切にできていた。</li> <li>・ 一人ひとりが自分の考えをしっかりとって話し合い活動に取り組んでいた。</li> </ul>	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「問題点」はグループで共通しているものになっていないので、「出し合う」時点でそれぞれがちがう方向を見ていた。「現状と課題」を共通のものにすればよかったのではないかと。同じ方向を向いて話し合えていれば良かった。</li> <li>・ 「付箋」の文字だけを追っただけなので、質問が出にくかった。もう少し、具体的に話をする時間を大切にしていればよかった。そうすれば、意見の具体化、差別化が図れたのではないかと。もっと焦点化をしても良かった。</li> </ul>	